



良質な天然活性水素水で細胞から潤う

世界が注目する “日田天領水”

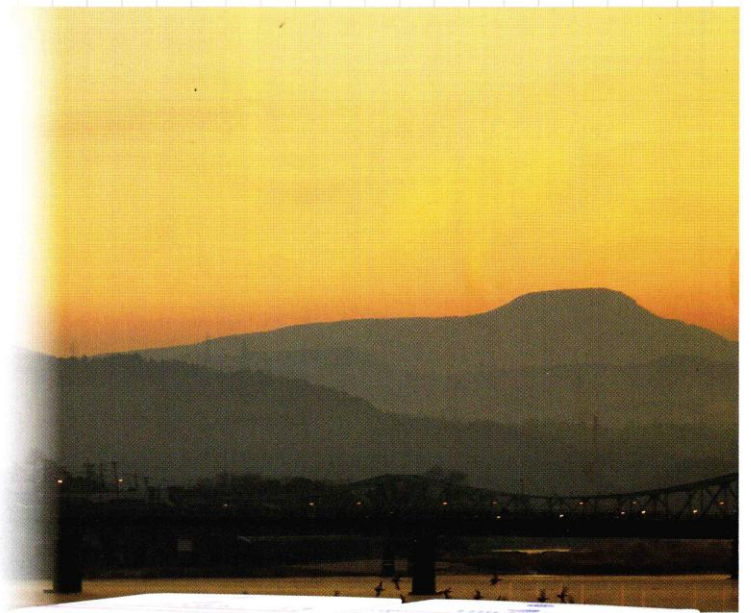
スキンケア製品や食事には気を使っても、毎日摂取するお水の大切さは意外と見過ごしてしまうもの。飲む水によって、細胞に大きな差があらわれるとしたら…。細胞の動きを高めるために、まずは、いつもの“お水”から変えてみましょう。

毎日飲む水を変えれば 肌の潤いも大きく変化

「人体の約70%は水分でできている」ということを耳にしたことがある人は多いはず。だけど、生まれたばかりの赤ちゃんと高齢者の肌を比較すると、赤ちゃんの肌のほうがふっくら潤っていることは一目で分かります。要は、70%というのは平均の数値であって、年を重ねるたびに、体内の水分量は徐々に減少していくのです。

そしてこの水分量の低下が、加齢の要因のひとつ。つまり、エイジングケアには、水分量の低下を防ぐことが必須ということ。とはいえ、どんな水でも結果が同じというわけではなく、水質の違いによって身体の潤いに差がでてくるのが、近年の研究結果で分かってきたのです！

なぜ潤い度合いに差がでるかと



いうと、体内に存在する一つひとつの細胞膜において、水の出入りを調整しているたんぱく質「アクアポリン」が、透過性が高い水をよく吸収するからとのこと。

アクアポリンは、1992年にアメリカの分子生物学者ビクター・アグリ氏によって発見されて以降、現在でも、世界中の研究者がその機能や性質について研究を進めているたんぱく質。日本では、秋田県立大学の北川良親名誉教授が積極的に研究していることで知られています。北川教授は、ミネラルウォーターの種類によって、アクアポリンの動きが異なることに注目。北川科学総合研究所を設立して、さらなる追究を進めています。同研究所による数種の水を分析した結果、深い地層の下

から汲み上げられている深井戸水である「日田天領水」が最も高いアクアポリン透過性があることが判明しました。もともと、うなぎ等の淡水魚を養殖する目的で汲み上げられていた深井戸水で、うなぎの生育にだけでなく、原水の水質は滅菌処理をしなくても、水道法の基準をクリアするほど良質。発売以来、多くの人に飲用されてきた天然活性水素水なのです。

体内の細胞を活性化してくれる天然活性水素水を飲み続ければ、アクアポリンがぐんぐん水分を吸収してくれます。年を重ねても、潤いに満ちたふっくら肌で毎日をお水は、ベストなものを選び続けたいですね。



- ・日田天領水12L (2個セット)
希望小売価格 3,150円
(全国一律価格・送料込)
- ・日田天領水2L (10本入)
希望小売価格 3,675円
(全国一律価格・送料込)

日田天領水

☎0120-0973-32

<http://www.hitatenryosui.co.jp/>

日田天領水